

水彩画教室 「古庄駅/静岡鉄道・静岡清水線」

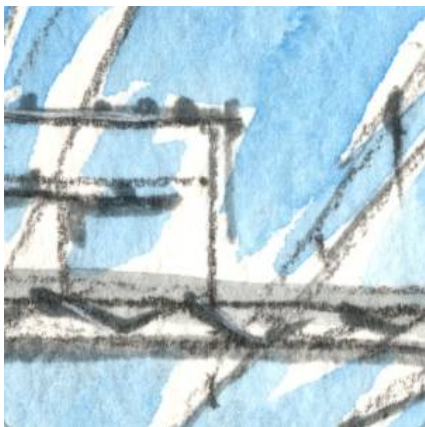
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

静岡の街を走る静岡鉄道は 地域の人々の暮らしに溶け込んだ身近な電車です 古庄駅(ふるしょうえき)もまた 通勤や通学 買い物へ向かう人々を静かに送り出し迎え入れる駅として親しまれています ホームに滑り込む電車の姿と 改札へ向かう人たちの足取りを眺めていると 大都市の巨大なターミナルにはない温かさが感じられます 初夏の青空の下で交差する架線や線路の向こうに 日常そのものの風景が広がっています 特別な観光地ではなくても そこに暮らす人々の時間が確かに流れていることに心を引かれました そんな穏やかな地方私鉄の駅の空気を思い出しながら描いた一枚です



これが完成した絵です



1、青空は「ホリゾン・ブルー」 架線と架線柱は うまく塗り残します



2、駅名板の文字は 鉛筆で書きました 細かい文字は適当に省略します



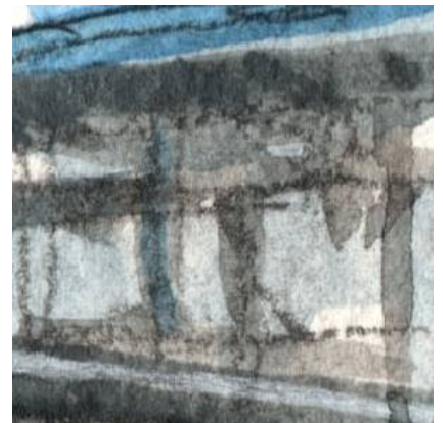
3、駅に入る人物 シルエットでも良いが今回は色まで表現しました



4、電車の「後ろ姿」 塗色はその鉄道会社らしく できるだけ正確に



5、電車の下面はやや暗くして 線路の角度も大切です



6、向かいのホーム ここにも人物を描いたほうが良かったです